

# 令和5年度 第3回在宅医療・介護連携推進会議

## 次 第

日時 令和6年2月8日（木）午後7時から

場所 W e b 及び市役所第二庁舎801会議室

### 1 開会

### 2 議題

- (1) 令和5年度在宅医療・介護連携推進事業に係る普及啓発事業実施実績【資料1】
- (2) 第9期小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画（案）におけるサービス見込量について
- (3) 退院時カンファレンス研修における各部会の連携状況等について【動画視聴】
- (4) 各部会における検討・活動状況について【資料2】

### 3 その他

次回開催予定 令和6年7月11日（木）午後7時から

### 4 閉会

#### 【配付資料】

- (1) 令和5年度在宅医療・介護連携推進事業に係る普及啓発事業実施実績
- (2) 小金井市在宅医療・介護連携推進会議各部会における検討・活動状況について

令和 5 年度  
在宅医療・介護連携推進事業  
に係る普及啓発事業  
実施実績

(令和 5 年度お元気サミット・介護みらいフェスにて実施)

# 看取り市民公開講座の概要

日時：令和5年11月9日（木）午後1時30分～午後4時

会場：小金井 宮地楽器ホール 小ホール

内容：【第一部】朗読劇「家で迎えた最期」～母の回想～  
発表 小金井市在宅医療・介護連携推進会議  
急変時対応・看取り支援部会

【第二部】講演「元気なうちに考える「人生で最後に過ごしたい場所」」  
講師 大井 裕子 氏  
小金井ファミリークリニック  
日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック臨床教授  
NPO法人 くみサポ 共同代表理事

# 看取り市民公開講座の様子



# 看取り市民公開講座の様子



# アンケート結果

参加者数 60人

うちアンケート回答者数 38人（回答率63.3%）

選択肢	人数	
	第一部	第二部
とてもよかった	20	23
よかった	11	4
どちらともいえない	1	1
あまり良くなかった	0	0
よくなかった	0	0
未回答	6	10
計		38

# アンケート結果（評価の理由）

## 【自由記述】

- 今まさに苦しんでいるテーマです。入院中誤嚥性肺炎、現在鼻管栄養、飲めず、食べられずの状態（本人欲しがる）
- パネルとともに進行がスムーズに行った事
- とても勉強になりました。朗読のスタイルで、所々に専門職のかたがたの解説があり、非常に分かりやすかったです！「予測されたことが起きる」の先生からの解説がとても分かりやすいです。
- なんとなく将来の自分の姿を想像してしまいました。  
残る家族に目の黒いうちに話し合いをしたいな～と思いました。
- 朗読劇は分かっていない自分への気づきに刺激になったと思う！
- 去年も参加。テーマは同じようですが。
- 考える機会を参加者に与えてくれた
- 在宅介ゴ、医療の本来あるべき住みなれたご自宅で、ご家族様に見守られながら最期を迎えられたケースを見させて頂き良かったです。
- 朗読劇内容がとてもリアルで感情移入できた。参考になった。
- ケアーマネージャーがみつからないで困っている。吸引ということとわられる。  
なんとか在宅にしたいが

# アンケート結果（評価の理由）

## 【自由記述】

- 最期を自宅で迎えられる様、元気なうち（軽度認知症に入る前の段階）に希望を含めたプランを家族に伝えること、そしてサポートをお願いすることの重要性を勉強できた。
- 母の体験を思い出した。
- 時間的にも丁度良かったと思います。
- 大井先生の看取りについて、わかりやすく、ていねいな説明で、とてもよかったです。
- 大井先生の話は、とても解りやすく勉強になりました。
- 自宅で看取りができる体制を引き続き発展させて欲しい
- 一人暮らしの在宅看取られるのは無理なのではないでしょうか。  
大井先生談一人暮らしの看取り可能との事、希望が持てました。
- 理解しやすく良かった
- ご本人やご家族ののぞむ最後に自宅で過ごしたいとの思いがかないすばらしい看取りを感じました。大井先生のお話は大変わかりやすく、自分や家族がターミナルケアがどうあるべきか考える機会となりました。
- 小金井の状況がよくわかり安心感につながった。
- 大井先生の講演が資料もあって良くわかりました。  
朗読劇は分かっていない自分への気づきに刺激になったと思う！
- 具合的な看取りのお話が良かった。



## 小金井市在宅医療・介護連携推進会議各部会における検討・活動状況について

	日常療養支援・多職種連携研修部会	入退院支援部会	急変時対応・看取り支援部会	I C T 連携部会
開催日	第14回多職種連携研修 ：令和5年11月15日（水）	令和5年度第3回：令和6年1月25日（木）	令和5年度第3回：令和5年10月25日（水）	ICT連携研修会：令和5年10月6日（金） 令和5年度第3回：令和5年11月13日（月） 令和5年度第4回：令和6年1月19日（金）
目指す姿	本人が安心できる場所で専門職の支援を受けながら穏やかに暮らすことができる。	入退院の際に、医療機関・介護事業所等が情報共有を行うことで、本人・家族が望む場所で、不安なく穏やかに日常生活を過ごすことができる。	各ステージで食支援に対応できるチームが増えるとともに、本人・家族が納得できる看取りに向けて準備ができる。また、自宅か病院かで心が揺れていても、希望に応じた選択ができるように体制を整える。	【部会としての目指す姿】 医療と介護の連携を I C T にてそれぞれ円滑に行うようにする。
検討・活動状況の概要	第14回多職種連携研修概要 (1)テーマ：①高齢者の虐待対応について ②通報後の行政の動き (2)講師：①川崎裕彰社会福祉士 ②介護福祉課 (3)参加者：65名 (4)開催方法：ZOOM	小金井市退院支援・退院フロー図に係る検討を実施。	(1)市内病院の看取り等の状況について、各病院のMSWに出席してもらい、ヒアリングを実施 (2)看取り講演会における食支援に関する事例発表について検討を実施 (3)看取り市民講座について検討を実施	(1)ICT連携研修会 ①テーマ：MCSのお悩み解決しましょう！ ②講師：株式会社エンブレース 松尾氏 ③参加者数：19名 ④開催場所：歯科医師会館  (2)第3回部会（他部会動画出演者出席） 退院時カンファレンス研修の内容について検討を実施  (3)第4回部会（他部会動画出演者出席） 退院時カンファレンス研修用模擬カンファレンス動画撮影
決定事項等	—	原則、介護報酬等の加算と紐づいた書式・要件等をベースとし、これまでの検討内容を加味した様式案を作成。同時に、加算の取得状況、取得しない理由などを実態確認を実施し、運用を開始する。	看取り講演会で発表する食支援の事例について決定	(1)第3回部会：退院時カンファレンス研修時のシナリオ、タイムテーブル、役割等について決定  (2)第4回部会：動画撮影及び研修当日の確認事項について共有
次回	第3回：令和6年2月16日以降	令和6年度第1回：令和6年5月16日（木）	令和5年度第4回：令和6年3月13日（水）	令和6年度第1回：令和6年4月17日（水）

## 第13回多職種連携研修会報告書

小金井市医師会在宅医療・介護連携支援室

川崎 恵美

日時： 令和5年11月15日（水） 19:00～20:30

場所： ZOOM 開催

テーマ：①「高齢者の虐待対応について」

②「通報後の行政の動き」

講師：①かわさき社会福祉士事務所 所長 川崎裕彰様

②小金井市役所介護福祉課包括支援係

参加者：65名（部会員・事務局含む）

医師6名 歯科医師2名 薬剤師4名 MSW1名 看護師12名 ケアマネ16名

社会福祉士4名 介護福祉士12名 理学療法士3名 言語聴覚士1名 その他4名

### 1. <アンケート結果>…回収 25

とても良かった・・・80%

良かった・・・20%

#### 1. 理由と学びになったこと

- ・通報義務>守秘義務を知ったこと。
- ・虐待発見時の実際を学ぶことが出来ました。他職種からの視点も知ることが出来勉強になりました
- ・虐待のとらえ方、対応の仕方について再確認ができました
- ・初めて「虐待」というテーマの研修の機会をいただき、理解するには能力が及びませんでした。身近にあることを意識できました。相談の仕方、実際の通報の様子をうかがい知ることができて、学びにつながりました。
- ・事例を挙げての説明が、わかりやすかったです。
- ・とても分かりやすかったです。
- ・説明がとても分かりやすかったです。
- ・在宅医療に携わる立場として大変興味深い分野のため。放棄放任の虐待には自覚のない場合が多いことを知り、双方を守るという見方で支援に努めることが重要であると学びました。
- ・虐待については、市内施設での虐待事件があったこともあり、社内研修などでもよく「おかしいと感じたらまずは通報。守秘義務があるので通報者は守られるから大丈夫」と教わるが、具体的な虐待が疑われる場面がいつも抽象的なので、今回の研修でイメー

ジがわかりやすく掴めた。また、他事業所他職種の方と講師の方との質疑応答が聞くことができ、それぞれの職種の視点や抱える課題などを聞くことができ、自分の視野が広がりよかった。

- ・本人の権利を侵害している状態であれば虐待と考えられるということがすごくわかりやすかったです。記録に『虐待』とは記載しないということも勉強になりました。

- ・虐待の判断は市町村に委ねる、まずはためらわずに相談する、ということがよく理解できた。記録をする際は「虐待」という言葉を使わずに見たままを記録する、ということが参考になった。

- ・虐待を疑う事案が発生した際の基本的な対応方法について学ぶ事ができた。

ケースをもとに具体的に虐待発生時の対応についてイメージすることができました。

私自身は虐待（と思われる）場面に遭遇した事はないと思っておりましたが、今回のお話を聞いて、今思えばレグレクトにあたる事例が過去にあったのを思い出しました。そのあたりは今まであまり気にしておらず、とても反省しております。虐待の事はいまままで学ぶ機会がなかったので、とても学びになりました。

- ・どのような事が虐待となるのか具体的でわかりやすかったです。

事例1・2で、高齢者虐待の通報のタイミングを具体的に聞くことができ、理解しやすかった。とても参考になりました。

- ・高齢者虐待を考える機会となったため

- ・事例集のようなことが今後に遭遇すると思いますので、大変参考になりました。

- ・虐待通報後どのように動いていくのか、記録の書き方などを学ぶことができた

- ・虐待に至る前からの気づきが、利用者の権利擁護に繋がる。虐待に至る前の違和感に気づき、利用者だけでなく、家族に寄り添った対応を意識することの重要性。

法改正等の新たな情報を得る事が出来た

- ・身近な事例であったため。

- ・虐待かと疑いをもった時の対応方法が知れたことが学びになった

## 2. 今後取り上げて欲しい研修

- ・多職種で虐待事例検討ができるとよいと思いました

- ・先日、府中市でのグリーンケアセミナーに参加しました。小金井市でもぜひ取り組んでいただきたいと思っています。

- ・災害時の対応や連携について

- ・在宅医療に関する小金井市での新たな取り組みなど

- ・クレームの多い家族に対する対応について

- ・小金井市で活用できるインフォーマルな社会資源について。

- ・一つの事例（例えば認知症の方等）に対して、多職種のそれぞれの役割（介入・看護・医療）を話し合うグループワークみたいな事がしたいです。
- ・虐待家族への接し方・声かけの仕方 関わるサービス事業所スタッフの精神的フォロー
- ・社会資源
- ・人材育成と意欲の向上
- ・高齢者の転倒の対応・薬剤師さんの介入のメリットなど

### 3. フリー記載

- ・貴重な機会を作っていただきありがとうございました。
- ・とても参考になりました。
- ・訪問介護で働いているのですが、他の業種の方と接する機会があまりないので、とても勉強になりました。
- ・本日はありがとうございました。深い学びを得ることができました。今後に生かしていきたいと思います。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・明らかな身体的虐待よりもネグレクトなどを疑うケースが多くあります。小さなことでも地域につなげることで大きな事象になることを防ぐことが重要と感じました。
- ・グループワークなどがなくて気楽におはなしができてよかったです。
- ・話を聞ける機会をありがとうございます。（虐待かと）疑問に思ったときの対応方法や、こちらの不安な部分など聞けてよかったです。ありがとうございます。

### 4. その他

次回 来年度検討

会 議 録

令和5年度第3回  
入退院支援部会

日 令和6年1月25日(木)  
時 午後7時～午後8時

場 所 Web会議

事務局 小金井市福祉保健部介護福祉課

出席者	委員	部会長 執行 真之 (ひがこ訪問看護ステーション)
		副部会長 出川 恵美 (居宅介護支援事業所つきみの)
		部会員 竹田 溪輔 (竹田内科クリニック)
		部会員 瀬口 秀孝 (桜町病院)
		部会員 菊田 拓也 (菊田歯科医院)
		部会員 水越 新人 (日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック)
		部会員 佐藤 雅彰 (アトム薬局)
		部会員 高橋 徹 (小金井ひがし地域包括支援センター)

事務局	介護福祉課主査 濱松 俊彦
	介護福祉課包括支援係主任 石井 哲平
	小金井市在宅医療・介護連携支援室 川崎 恵美

欠席者	部会員 古田 菜々 (小金井リハビリテーション病院)
	部会員 天野 秀達 (花物語こがねいナーシング)

傍聴の可否	◎可 ・ 一部不可 ・ 不可	傍聴者数	0人
-------	----------------	------	----

傍聴不可・一部不可の場合の理由

—

次 第

1 開会

2 議題

(1) 小金井市退院支援・退院調整フロー図に係る検討

3 その他

## 1 開会

## 2 議題

### (1) 小金井市退院支援・退院調整フロー図に係る検討

事務局から資料1を用いて、入退院調整において書式を作成している他自治体は、報酬や加算に紐づく書式を作成していること等を説明し、今後は退院・退所加算書式を基に検討を行うことを提案した後、次のとおり検討を行った。

ア 退院・退所加算の書式は加算を取れるので、ケアマネジャー事業所であれば基本的に使用している。書式も国から標準書式が示されているため、どの事業所もおおよそ同様の書式を使用していると思う。

イ 加算の要件や当該書式に該当しない患者がどの程度いるかについては、調査が必要であると感じる。

ウ ケアマネジャーが加算を取得しない理由については、ケアマネジャーの部会で調査可能である。

エ 部会の開催ごとに検討内容がリセットされているように感じる部分はあるが、シートの内容検討のフェーズから、周知や運用方法の検討フェーズに移行することについては良いと思う。

オ 加算が取れる書式を基に検討することは良いと思う。

カ 今までの検討も加味して、加算の要件は確保した状態で、薬局や歯科の情報等を肉付けしていけると良い。

キ 肉付けのし過ぎや書面によらない顔の見える関係の継続についても配慮しながら検討していく必要がある。

ク 使用方法やマニュアル、マイルストーンも必要に応じて作成していく。

ケ 次回部会に向けて加算を取っていない理由の確認や、周知に向けた検討を行うとともに、事務局にて書式案を作成する。

## 3 その他

次回予定 令和6年5月16日（木）午後7時から

会 議 録				
令和5年度第3回 急変時対応・看取り支援部会	日 時	令和5年10月25日(水) 午後7時～午後8時10分	場 所	Web会議
事務局	小金井市福祉保健部介護福祉課			
出席者	委 員	部会長	大井 裕子 (小金井ファミリークリニック)	
		副部会長	譜久村 翔 (WLIFE訪問看護センター)	
		部会員	宮本 諭 (宮本内科医院)	
		部会員	飯塚 央子 (武蔵野中央病院)	
		部会員	黒田 俊太郎 (黒田歯科医院)	
		部会員	高橋 賢晃 (日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック)	
		部会員	長澤 由起子 (薬剤師会)	
		部会員	小嶋 理絵 (あんずケアプランセンター小金井)	
		部会員	高野 美子 (小金井きた地域包括支援センター)	
		ゲスト	齋藤 優喜子 (桜町病院)	
	ゲスト	大山 美奈子 (小金井太陽病院)		
事務局	介護福祉課主査	濱松 俊彦		
	介護福祉課包括支援係主任	石井 哲平		
	小金井市在宅医療・介護連携支援室	川崎 恵美		
欠席者	部会員	齋藤 敦 (にこにこサービス)		
	部会員	天野 秀達 (花物語こがねいナーシンググループホーム)		
傍聴の可否	◎可・一部不可・不可		傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合の理由			—	
次 第				
1 開会				
2 議題				
(1) 市内病院における看取りについて				
(2) 看取り講演会における食支援に関する事例発表について				
(3) 看取り市民公開講座について				
3 その他				
次回日程について				

## 1 開会

事務局から連絡事項の説明を行った。

## 2 議題

### (1) 市内病院における看取りについて

次のとおり各病院のMSWからヒアリングを行った。

#### ア 看取りに向けた患者の受入れについて

##### (ア) 桜町病院

- i ホスピスもあることからがん末期の患者の受入れをしている。
- ii 点滴や皮下注のみ等ゆっくりとした自然な看取りにおいて、苦痛を和らげる手伝いはするが、人工呼吸器を使用する等積極的に延命を希望する患者については他の病院を案内している。
- iii ホスピスには間に合わない、積極的な痛みのコントロールを必要としない患者は一般病棟で受入れている。
- iv 面会について、ホスピスでは制限はないが、他病棟では制限がある。

##### (イ) 小金井太陽病院

- i 長期の看取りの場合は療養型病棟を案内する。
- ii がん等医療行為がそれほど必要ない、点滴、皮下注、ルートだけCVを入れる患者等も受入れをしている。
- iii 緊急の場合にはひとまず一般病棟で受入れ、その後療養型病棟を案内することもある。また桜町病院のホスピスを希望する患者も多く、療養型病棟で待機しながら、桜町病院と連携を取り、転院となる患者もいる。
- iv 面会については制限がある。5月8日以降は、1回15分、2人まで、次回面会まで1週間あけることとしている。

##### (ウ) 武蔵野中央病院

- i 看取りの患者は内科病棟で受入れをしている。
- ii 点滴、皮下注、CVのルート確保のみ等の患者を受入れている。
- iii 特定の疾患は受入れをしないということはないが、気管切開をしている、人工呼吸器をつけている患者の受入れはできない。疼痛コントロールもしており、桜町病院のホスピスを希望するが入れない患者の看取りもしている。
- iv 面会については制限がある。医師が認めれば、終末期には面会数を増やす対応をしている。



## イ 急変時の対応について

### (7) 桜町病院

- i 休日・夜間にご相談いただいても対応ができない。平日日中でできれば早い時間帯であれば、急な入院も受入れられる可能性はある。病棟を問わず、なるべく受入れるようにはしているが、スタッフの体制等により、受入れができないこともあるのが実情である。
- ii 新規の患者の受入れはできないが、地域の医師からの連絡であれば受入れやすい。

### (8) 小金井太陽病院

- i 夜間も含めて救急はやっているが、状況により受入れられないことはあり、治療を希望する場合には他の病院を案内している。検査等は翌朝となるが、ひとまず入院だけでも希望する場合には、受入れている。夜間の対応は当直医がどの診療科によっても変わってくる。
- ii スタッフ不足により受入れができない、かかりつけの患者が優先となる、等も実情としてはある。

### (9) 武蔵野中央病院

- i かかりつけの患者であれば受入れることもある。
- ii 発熱等急変時の入院は受入れができない。

## ウ その他

公立昭和病院では登録医の制度があり、登録医が診ていた患者が入院した際に、登録医が公立昭和病院での診療録を閲覧できるという仕組みがある。市内病院でもそのような仕組みの導入について検討してほしい。

## (2) 看取り講演会における食支援に関する事例発表について

次のとおり協議を行い、看取り講演会においては、大井部会長と高橋部会員にて事例発表をすることとした。

ア 看取り講演会で発表する食支援の事例は、介護職に気づきを与えるために、介護職と対応した成功事例とする。

イ 小嶋部会員から、利用者に対し、ヘルパーとともに行った食支援の事例発表があった。

ウ 黒田部会員から、府中市の通所リハビリテーションの栄養士にて、食支援についての事例発表が可能な旨の報告があった。

エ 高橋部会員にて上記アに沿うような事例を引き続き探す。

オ 大井部会長から、特養、デイサービス、配食サービスで食事を提供している管理栄養士・調理師等と、提供者に対して継続的に支援をした事例の発表があった。

(3) 看取り市民公開講座について

事務局から資料1を用いて説明した後、次のとおり協議を行った。

ア マイク係は大井部会長、高橋部会員で行う。

イ 事務局にて台本の更新を行う（訪問看護の解説部分）。

3 その他

次回予定 令和6年3月13日（水）午後7時から（Web会議）

## 令和5年度第1回 ICT 連携部会勉強会報告書

小金井市医師会在宅医療・介護連携支援室

川崎 恵美

主 催：ICT 連携部会

日 時：令和5年10月6日（金） 19：00～20：00（予定）

場 所：歯科医師会館

テーマ：「MCS のお悩み解決しましょう！」

講 師：株式会社エンブレース 松尾氏

参加者：19名（部会員8名含む）

医師2名 歯科医師5名 薬剤師1名 看護師1名 MSW1名 ケアマネ3名 社会福祉士1名 介護福祉士2名 その他3名

### 1. <アンケート結果>…回収 5

とても良かった・・・100%

#### 1. 理由と学びになったこと

- ・顔の見える関係が気づけたこと
- ・あらためて知らない使い方を理解した
- ・他職種で繋がるのが重要と思われる。
- ・ざっくばらんに話ができよかった。また、自分のわからないところも研修をうけながら明らかになり、結果理解を深めることができた。

#### 2. 今後取り上げて欲しい研修

- ・MCS を利用する上でのネットマナー
- ・定期的に同じような研修ができるとよいと思います。

#### 3. フリー記載

同じ内容でもリアル開催の方が充実感がありますね。

以上。（次回 11/13 19：30～ ICT 部会開催予定）

会 議 録				
令和5年度第3回 ICT連携部会	日 時	令和5年11月13日(月) 午後7時30分～午後8時45分	場 所	多摩クリニック及びWEB
事務局	小金井市福祉保健部介護福祉課			
出席者	委 員	<b>【対面参加】</b> 部会長 田中 功一 (田中整形外科) 副部会長 戸原 雄 (日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック) 部会員 中原 昌則 (伯雲堂薬局) 部会員 清水 智恵 (訪問看護ステーション国立メディカルケアサテライト) 部会員 大山 美奈子 (小金井太陽病院) 部会員 前田 芳博 (指定居宅介護支援事業所赤とんぼ) 部会員 田口 重和 (みなみ地域包括支援センター)  <b>【WEB参加】</b> 部会員 内山 雅之 (うちやまクリニック) 部会員 曾我 信也 (パーソナルケアサービス小金井かいわい)		
	動画 出演者	<b>【対面参加】</b> [急変時対応・看取り支援部会] 部会員 宮本 諭 (宮本内科医院) [入退院支援部会] 部会長 執行 真之 (ひがこ訪問看護ステーション) [日常療養・多職種連携研修部会] 部会長 伊藤 直樹 (みずたま介護ステーション) 副部会長 柳堀 明久 (陽なたりハビリデイサービス)		
	事務局	介護福祉課主査 浜松 俊彦 介護福祉課包括支援係主任 石井 哲平 小金井市在宅医療・介護連携支援室 川崎 恵美		
欠席者	橋詰 雅志 (歯科診療室 橋詰) 立岡 慎哉 (桜町聖ヨハネホーム)			
傍聴の可否	◎可・一部不可・不可	傍聴者数	0人	
傍聴不可・一部不可の場合の理由		—		
次 第				
1 開会				
2 議題				
(1) MCS研修会の振り返りについて(10月6日開催)				
(2) 退院時カンファレンス研修について(2月16日開催予定)				

### 3 その他

#### 1 開会

#### 2 議題

##### (1) M C S研修会の振り返りについて（10月6日開催）

- ・ 事務局から、参加者について（19名医師2名、歯科医師5名ほか）及び当日所管について報告。
- ・ 部会長から、参加者は少ないながらも有意義であったこと、次年度は薬剤師会で同様の研修を予定していることについて報告。

##### (2) 退院時カンファレンス研修について（2月16日開催予定）

###### ア シナリオについて

- ・ シナリオを通しで読んだ際にかかる時間は12分程度。
- ・ シナリオ冒頭の事前情報については、課題（問題点）等を追記したうえで、パワーポイント等の資料として事務局川崎氏が作成・説明する。
- ・ シナリオの修正は小幅にとどめ、カンファレンスの結果作成された居宅サービス計画書（ケアプラン）第2表を前田ケアマネジャーが作成し、動画供覧後にパワーポイント等で提示する。

第2表には、ベッドやシャワーチェアの導入などカンファレンスを受けて調整されたサービス内容が記載される。

- ・ 訪問薬剤管理指導の入る理由として、事前情報の課題に患者家族の服薬管理を含めたうえで、宮本先生のセリフを「薬剤師さんにお任せしたいと思います」等に変更し、参加の必要性を担保する。

###### イ 当日のタイムテーブル・役割等について

- ① 司会：事務局川崎氏
- ② 開会挨拶：戸原副部会長
- ③ 動画供覧（解説）：戸原副部会長
- ④ 算定に関して：田中部会長
- ⑤ 質疑応答：市介護・医療保険担当者
- ⑥ 閉会挨拶：田中部会長

###### ウ その他

- ・ 衣装に関しては、出演者が各自用意する（上半身のみで可）。
- ・ 欠席者が生じた場合は、前田ケアマネジャーもしくは事務局員が代役となる。
- ・ セリフに関しては、カンファレンス資料の体でシナリオを手元に置き、読

むことも可。

- ・ 撮影時の音声について、マイクの要否等の判断がつかないため、試し撮りは必要。
- ・ カメラの準備、撮影は事務局が行う。

### 3 その他

- ・ 動画撮影（令和6年1月19日（金）午後7時30分）が第4回の部会扱いとなるため、本研修の振り返り等は次年度の第1回部会で行う。
- ・ 次回予定 令和6年4月17日（水）午後7時30分～

会 議 録				
令和5年度第4回 ICT連携部会	日 時	令和6年1月19日(金) 午後7時30分～午後8時45分	場 所	多摩クリニック
事務局	小金井市福祉保健部介護福祉課			
出席者	委 員	部会長 田中 功一 (田中整形外科) 副部会長 戸原 雄 (日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック) 部会員 中原 昌則 (伯雲堂薬局) 部会員 清水 智恵 (訪問看護ステーション国立メディカルケアサテライト) 部会員 前田 芳博 (指定居宅介護支援事業所赤とんぼ) 部会員 田口 重和 (みなみ地域包括支援センター)		
	動画 出演者	[急変時対応・看取り支援部会] 部会員 宮本 諭 (宮本内科医院) [入退院支援部会] 部会長 執行 真之 (ひがこ訪問看護ステーション) [日常療養・多職種連携研修部会] 部会長 伊藤 直樹 (みずたま介護ステーション) 副部会長 柳堀 明久 (陽なたリハビリデイサービス) [医療・介護連携推進会議(親会議)] 委員 齋藤 優喜子 (桜町病院)		
	事務局	介護福祉課主査 浜松 俊彦 介護福祉課包括支援係主任 石井 哲平 小金井市在宅医療・介護連携支援室 川崎 恵美		
傍聴の可否	◎可・一部不可・不可	傍聴者数	0人	
傍聴不可・一部不可の場合の理由		-		
次 第				
1 開会				
2 議題				
(1) 退院時カンファレンス研修用模擬カンファレンス動画撮影				
(2) 退院時カンファレンス研修時確認事項について				
3 その他				
1 開会				
2 議題				

(1) 退院時カンファレンス研修用模擬カンファレンス動画撮影

- ・ これまでの検討に基づき、動画撮影。
- ・ 撮影後の意見等について
  - 動画中、出演者がマスクを着用していることにより、発言者が分かりにくいのではないか。
- 事務局で発言者・発言内容等をテロップで表示するなど可能な範囲で編集を試みる。  
編集後、研修当日までに内容を確認できるよう事務局から仮動画の視聴方法を案内する。

(2) 退院時カンファレンス研修時確認事項について

- ・ 資料に基づき、当日の進行を確認。
- ・ 当日ZOOMに投影する資料等については、MCSで共有し確認する。

3 その他（ICT部会員のみ）

- ・ 今回の撮影が部会扱いとなるため、本研修の振り返り等は次年度の第1回部会で行う。
- ・ 次回予定 令和6年4月17日（水）午後7時30分～